baby lock

糸取物語 wave

BLS-3WJ

～早見表～

QUICK REFERENCE

1 糸かけ

はずみ車の固定……2
ルーパー糸……2
針糸……3

2 針の交換……3

3 OVERLOCK（オーバーロック）

2本針4本糸ロック……4
1本針3本糸ロック……5
標準巻きロック……6
変形巻きロック……7
1本針2本糸ロック……8・9

4 WAVELOCK（ウェーブロック）

ウェーブロック……10
巻きウェーブロック……11

5 平縫い（応用）

3本糸ロックの平縫い……12
ウェーブロックの平縫い……13

6 基本操作

縫い始め・縫い終わり……14
空環の始末……14
縫い目のほどき方……15
カーブを縫う時のポイント……15

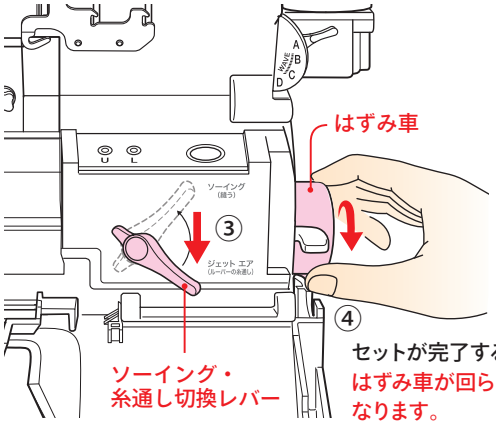
7 主な名称……16

ルーパーの糸かけには**ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）**を使います。
まず下記の**「はずみ車の固定」**を必ず行ってください。

また、糸かけが終わったら忘れずに**「固定の解除」**（ご使用のてびきP19参照）を行ってください。

はずみ車の固定

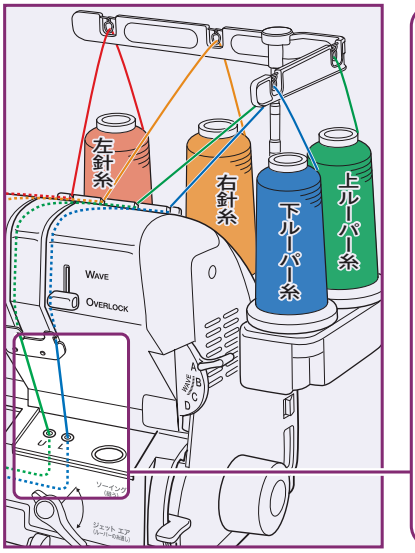
① 押え金を上げる。
② フロントカバーとメスカバーを開ける。
③ ソーイング・糸通し切換レバーを「ジェットエア」側へ下げる。
④ はずみ車をカチッと音がするまで手前に回す。

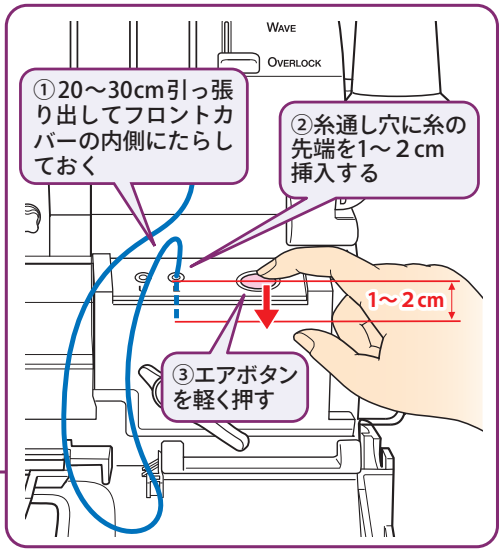


重要 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。

ルーパー糸

ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）の使い方





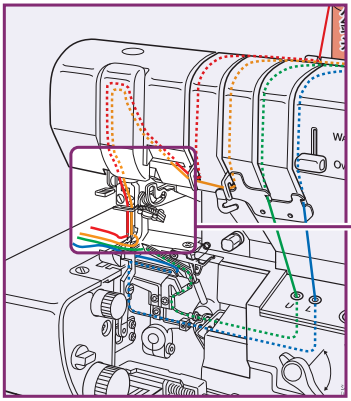
ワンポイント

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利！
※使い方はご使用のてびき6ページ参照

【付属】
ルーパースレッダー
（糸通し具兼掃除具）

針糸

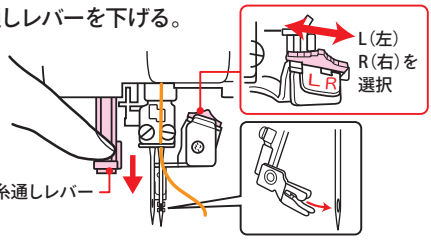
ラクスルー（自動針糸通し）の使い方



重要

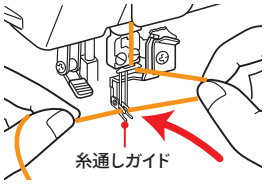
「固定の解除」
（ご使用のてびきP19参照）を
してから縫い始める。

①糸通しレバーを下げる。

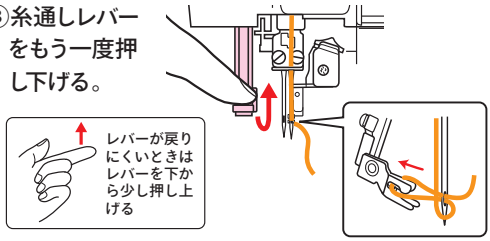


注「はずみ車の固定」をしていない状態では
糸通しレバーを絶対に動かさないでください。

②糸通しガイドに糸を
引っかけ、手を放す。



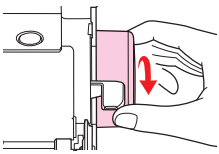
③糸通しレバー
をもう一度押
し下げる。



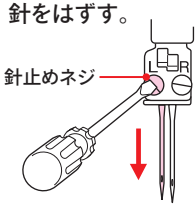
針の交換

取りはずし方

①はずみ車を回して、針を
一番上まで上げる。



②付属のドライバーで
針止めネジをゆるめ、
針をはずす。

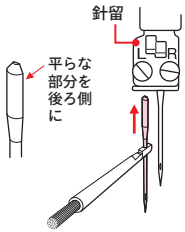


注 2本針から1本針にしたときは、針を取りはずした後、外した針の止めネジを必ずしめ直しておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。

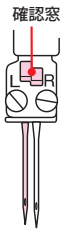
注 使わない糸は取り除いてください。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

取り付け方　使用針：ORGAN NEEDLES（オルガン針）HA×1SP

①新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の一番上まで差し込む。



②確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。

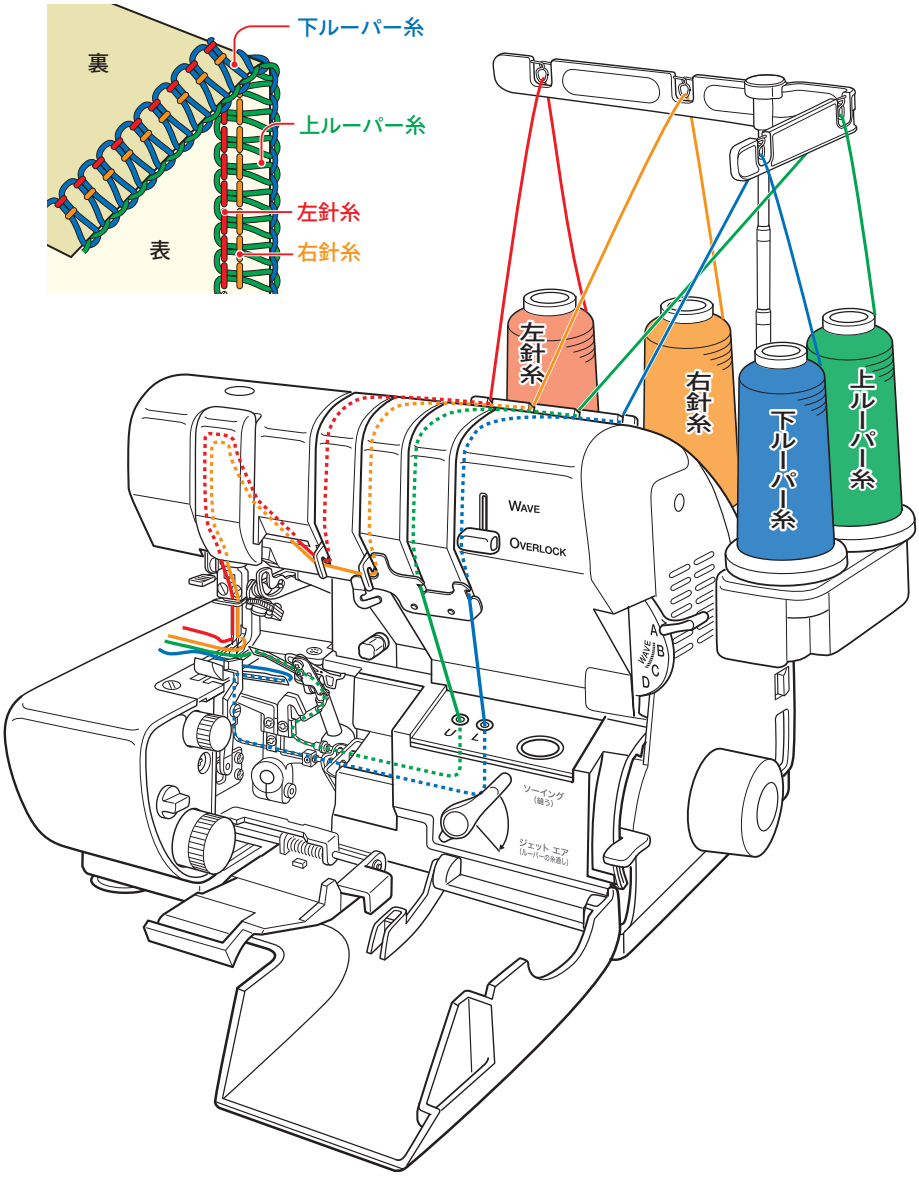


注 針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

2本針4本糸ロック

ニット地の縫い合わせに最適な縫い目です。

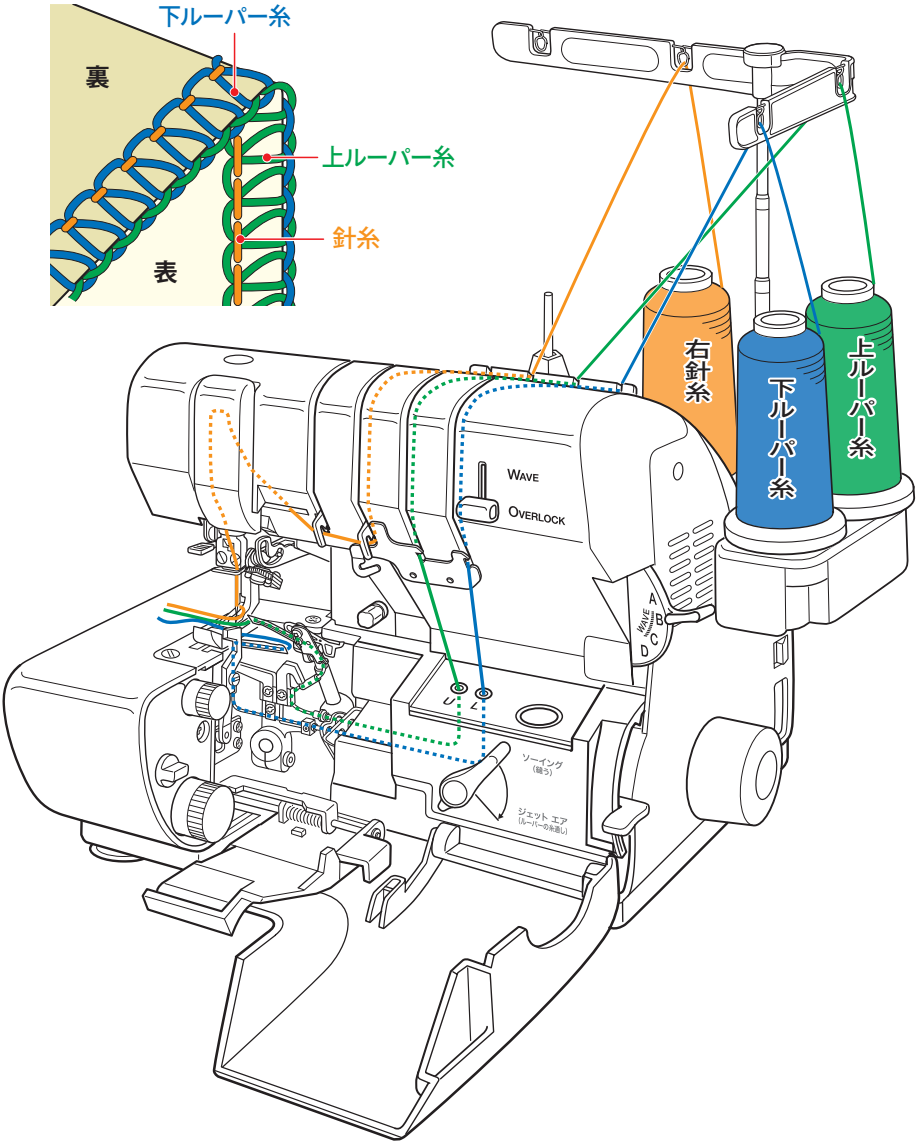
針	送り目（縫い目長さ）	かがり幅	縫い目切換レバー	オーバーロック／ウェーブロック切換ツマミ
2本	【普通ロック】側　2.5〜3.5	5.5〜7.5	A	OVERLOCK



1本針3本糸ロック

縁かがりに最適です。通常は右針を使います。

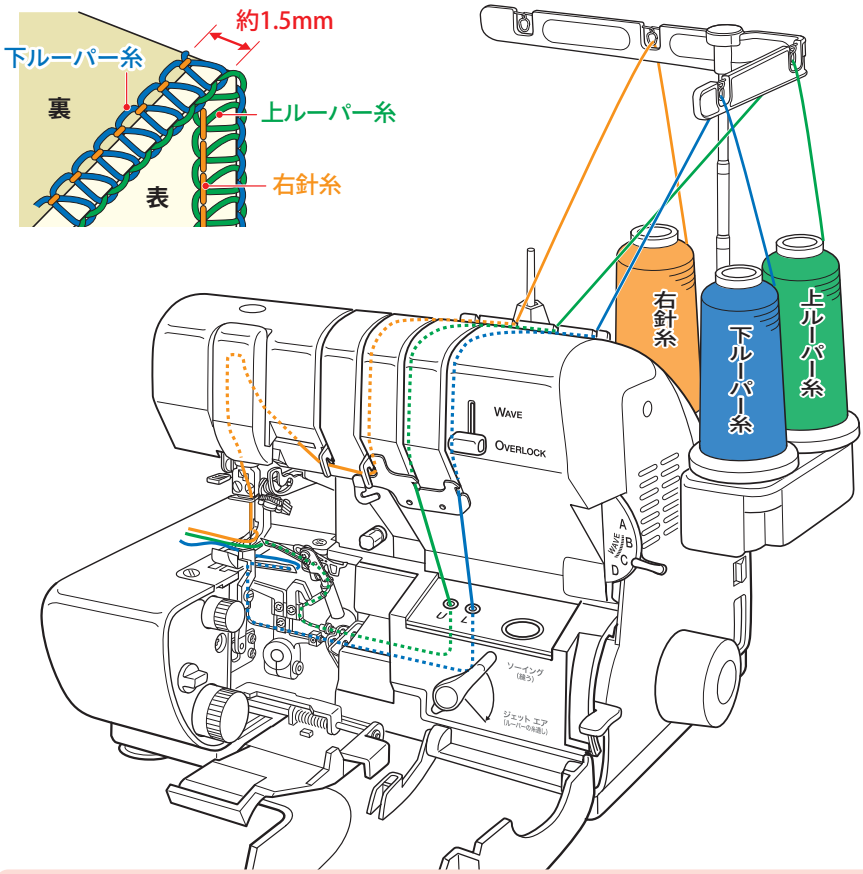
針	送り目（縫い目長さ）	かがり幅	縫い目切換レバー	オーバーロック／ウェーブロック切換ツマミ
右針（または左針）	【普通ロック】側 2.5〜3.5	右針3.0〜5.0（左針5.5〜7.5）	B（左針の場合はA）	OVERLOCK



標準巻きロック

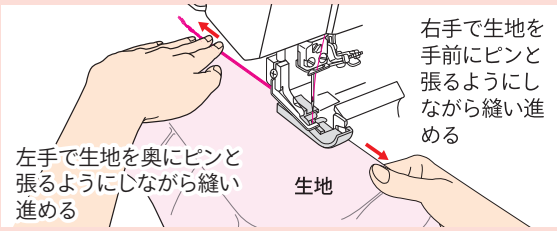
布端をひと折りしながら細くかがりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。
かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに仕上げることができます。
オーガンジーやジョーゼットなど薄地の縫い合わせや端始末に。

針	送り目（縫い目長さ）	かがり幅	縫い目切換レバー	オーバーロック／ウェーブロック切換ツマミ
右針	【巻きロック】側 0.75〜1.5	M	C	OVERLOCK



ワンポイント

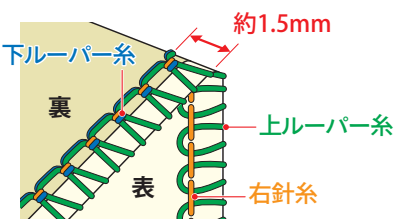
巻きロックを綺麗に縫うには、縫う速度に合わせて、生地を両手で前後にピンと貼りながら縫い進めると綺麗に仕上がります。

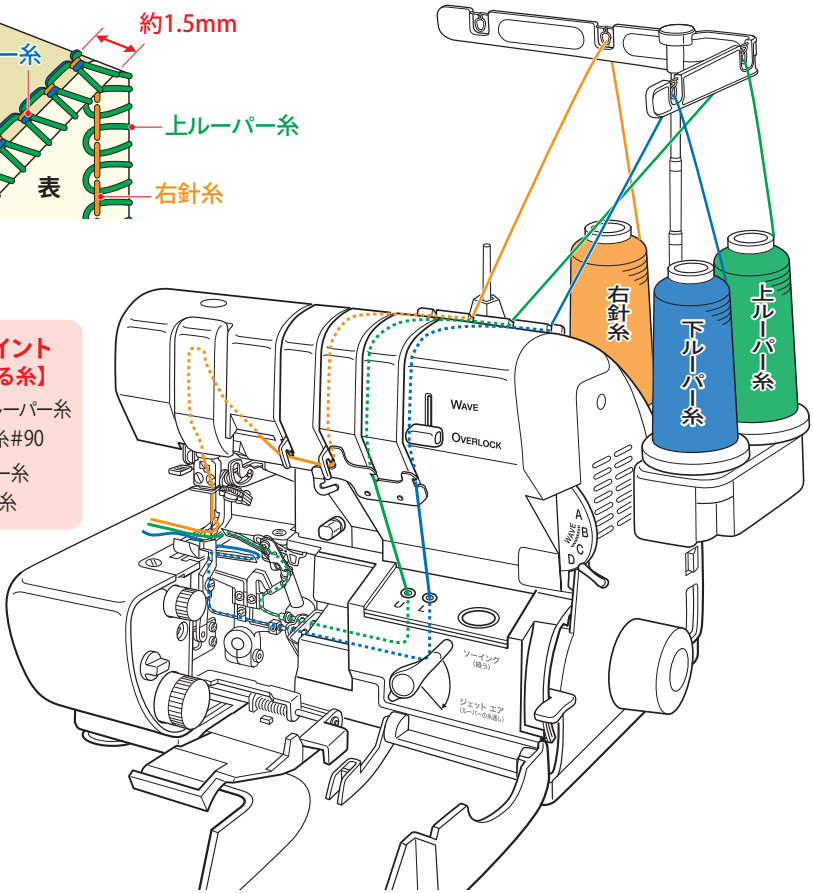


変形巻きロック

上ルーパー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかがります。既製品に多く使われている縫い目です。薄物の縁かがりやハンカチ、コサージュやフリルにも。

針	送り目（縫い目長さ）	かがり幅	縫い目切換レバー	オーバーロック／ウェーブロック切換ツマミ
右針	【巻きロック】側 0.75〜1.5	M	D	OVERLOCK





ワンポイント【推奨する糸】

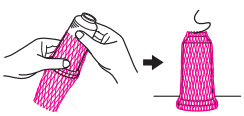
針糸・下ルーパー糸
：スパン糸#90

上ルーパー糸
：ウーリー糸

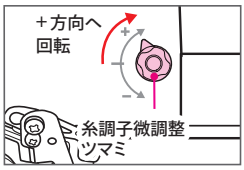
巻きロックをテトロン糸で行う場合の調整

針・上下ルーパーの3本ともに細番手のテトロン糸を使用した場合、糸が滑りやすいことに起因して、巻きロックの縫い目が乱れることがあります。そのような現象が発生した場合は、以下の調整をお試しください。

① 付属のベビーネットを使用する。

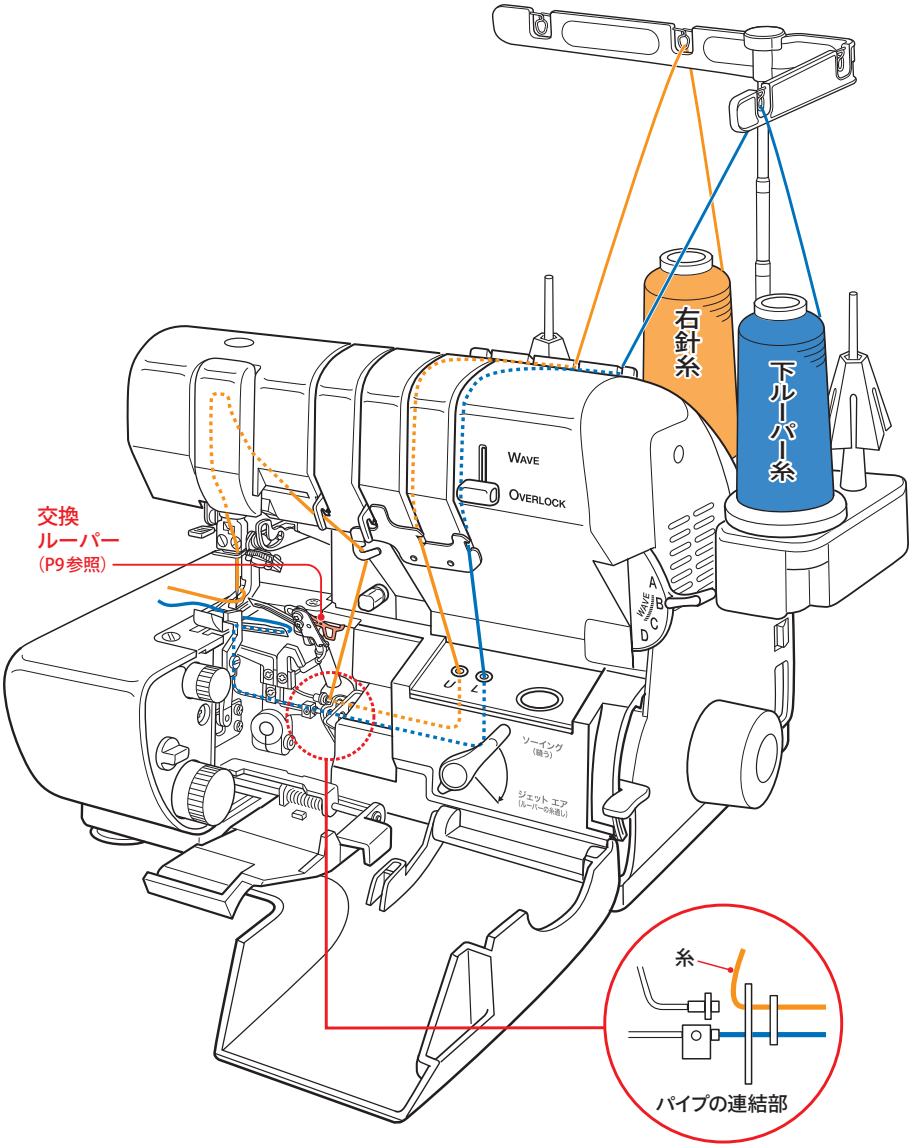


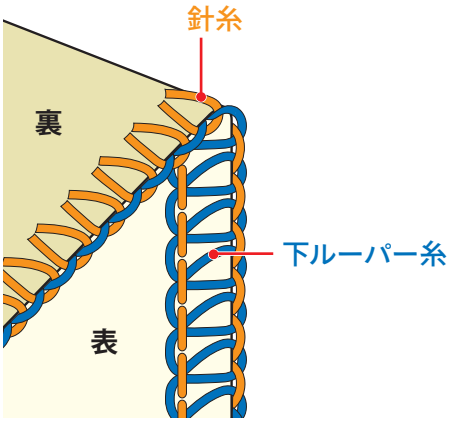
② 糸調節微調整ツマミを「+」の方向にまわし、送り目を1mm以上に調整する。

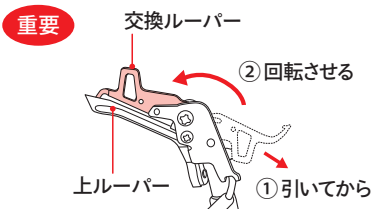


1本針2本糸ロック

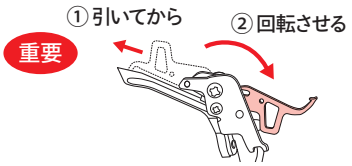
針	送り目（縫い目長さ）	かがり幅	縫い目切換レバー	オーバーロック／ウェーブロック切換ツマミ
右針（または左針）	【普通ロック】側 2.5〜3.5	3.0〜5.0（左針5.5〜7.5）	B（左針の場合はA）	OVERLOCK







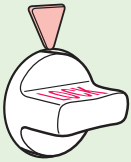
2本糸から4・3本糸・巻きロックに切り換える場合は、必ず交換ルーパーを元の位置に戻してください。

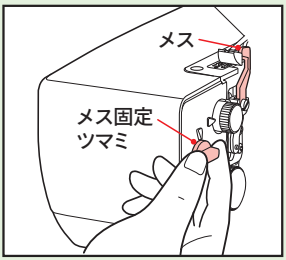


2本糸ロックはほとんどの場合は、飾り縫いで使われるため、下ルーパー糸に太い糸や飾り糸を使うと効果的です。

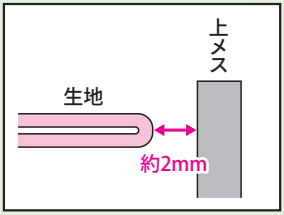
『代表的な縫い方』

①メス固定ツマミを「LOCK（固定）」側にする。

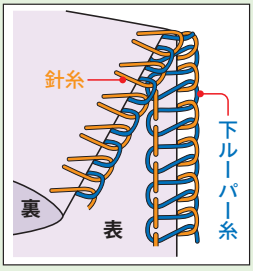


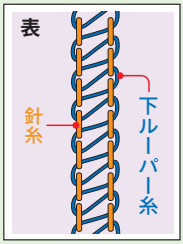


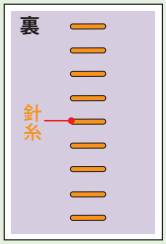
②生地を二つ折りにして、その折り山の端を固定したメスから左側に2mmほど離して縫う。



③縫い終わったら、生地を広げる。

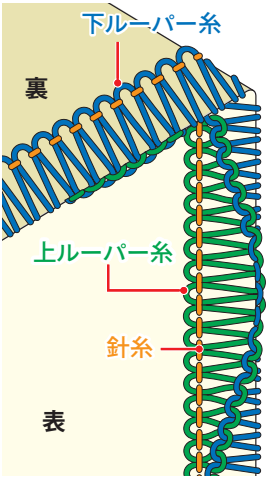






ウェーブロック

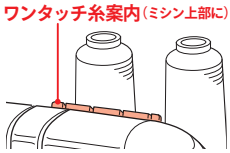
針	送り目（縫い目長さ）	かがり幅	縫い目切換レバー	オーバーロック／ウェーブロック切換ツマミ
右針	【普通ロック】側　0.75〜1.5	3.0〜5.0	WAVE：B	WAVE



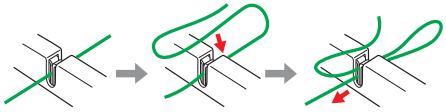
上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

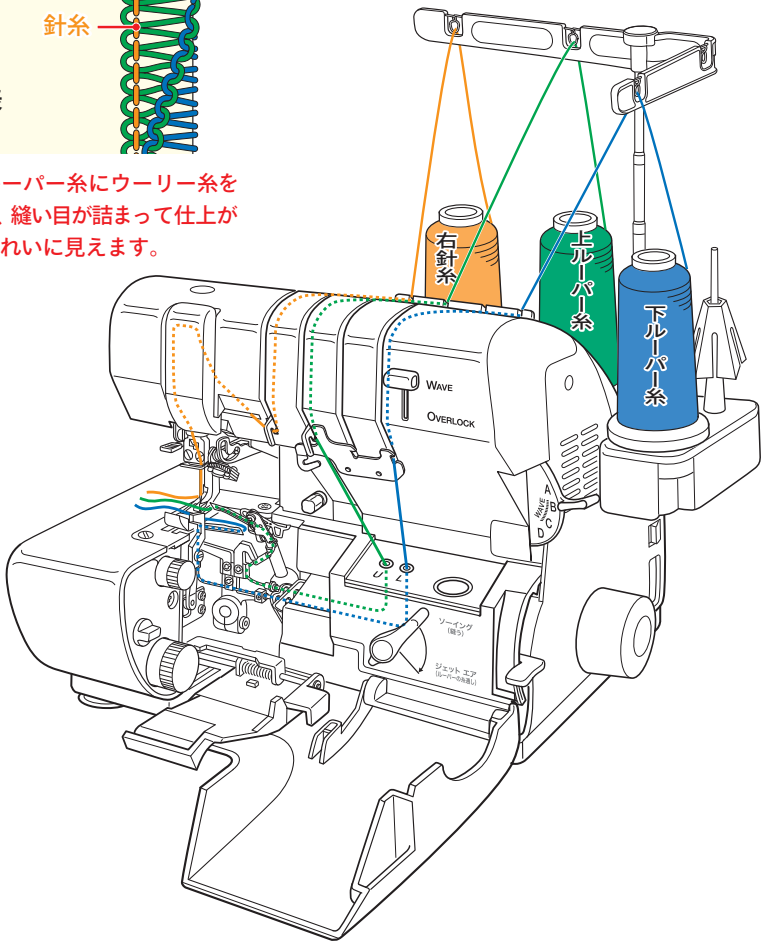
ワンポイント

ワンタッチ糸案内（ミシン上部に）



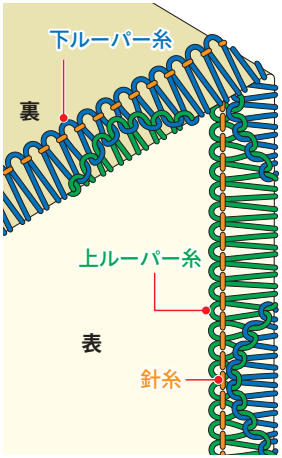
ワンタッチ糸案内からカンタンに糸をはずす方法





巻きウェーブロック

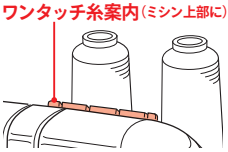
針	送り目（縫い目長さ）	かがり幅	縫い目切換レバー	オーバーロック／ウェーブロック切換ツマミ
右針	【巻きロック】側　0.75〜1.5	M	WAVE：C	WAVE



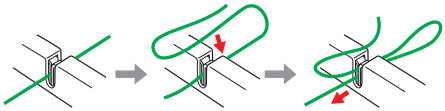
上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

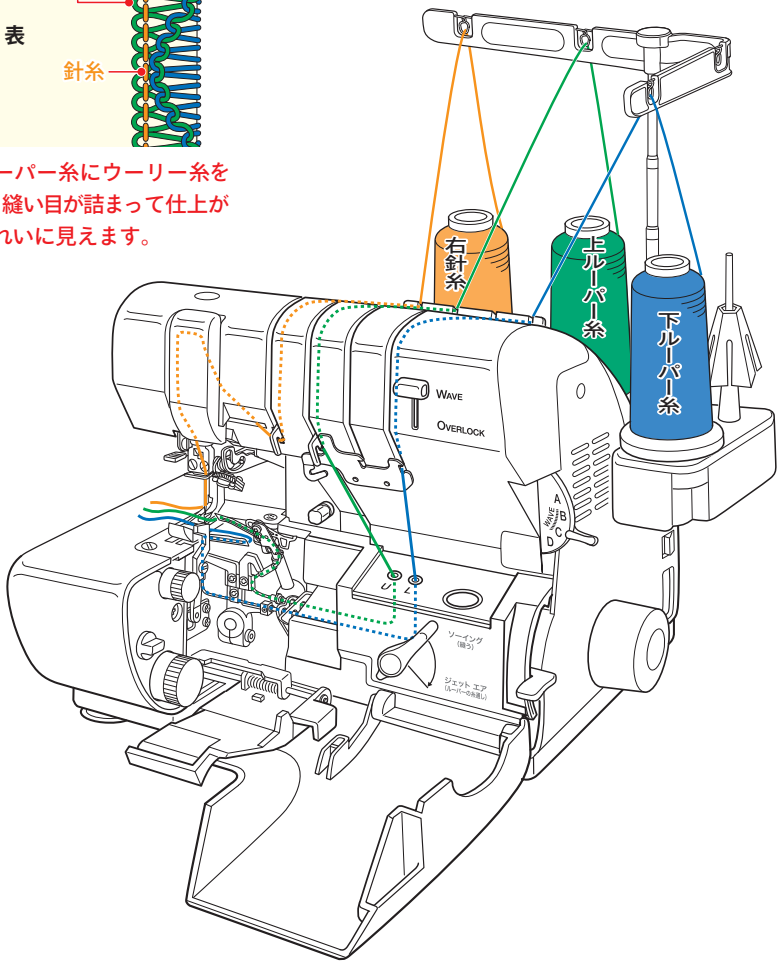
ワンポイント

ワンタッチ糸案内（ミシン上部に）



ワンタッチ糸案内からカンタンに糸をはずす方法



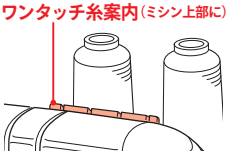


3本糸ロックの平縫い

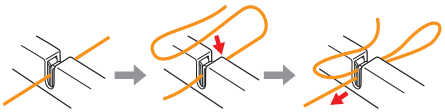
パッチワーク感覚でいろんな生地をつなぎあわせたり、無地の生地の真ん中に
飾り縫いをする事ができます。

針	送り目（縫い目長さ）	差動	かがり幅	縫い目切換レバー	オーバーロック／ウェーブロック切換ツマミ
右針	0.75〜3.0	N	3.0〜5.0	D	OVERLOCK

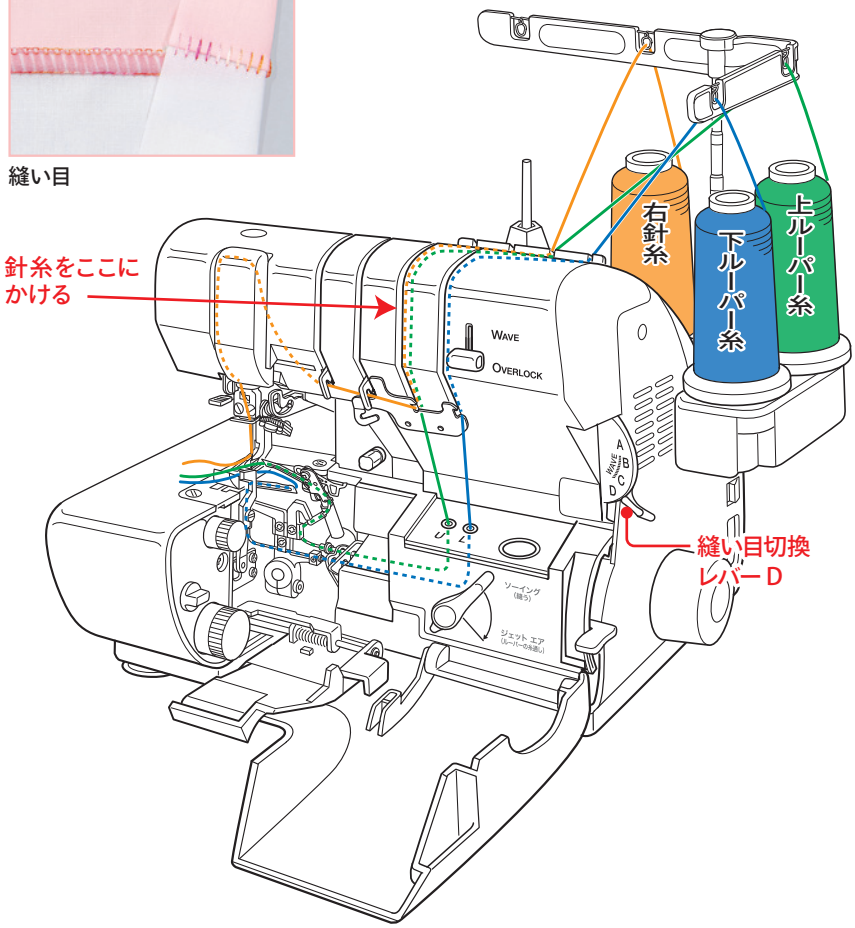
ワンポイント



ワンタッチ糸案内からカンタンに糸をはずす方法



縫い目

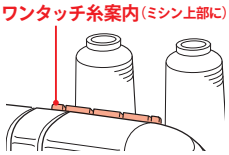


ウェーブロックの平縫い

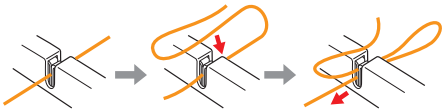
パッチワーク感覚でいろんな生地をつなぎあわせたり、無地の生地の真ん中にウェーブロックで飾り縫いをする事ができます。

針	送り目（縫い目長さ）	差動	かがり幅	縫い目切換レバー	オーバーロック／ウェーブロック切換ツマミ
右針	0.75〜1.5	N	3.0〜5.0	D	WAVE

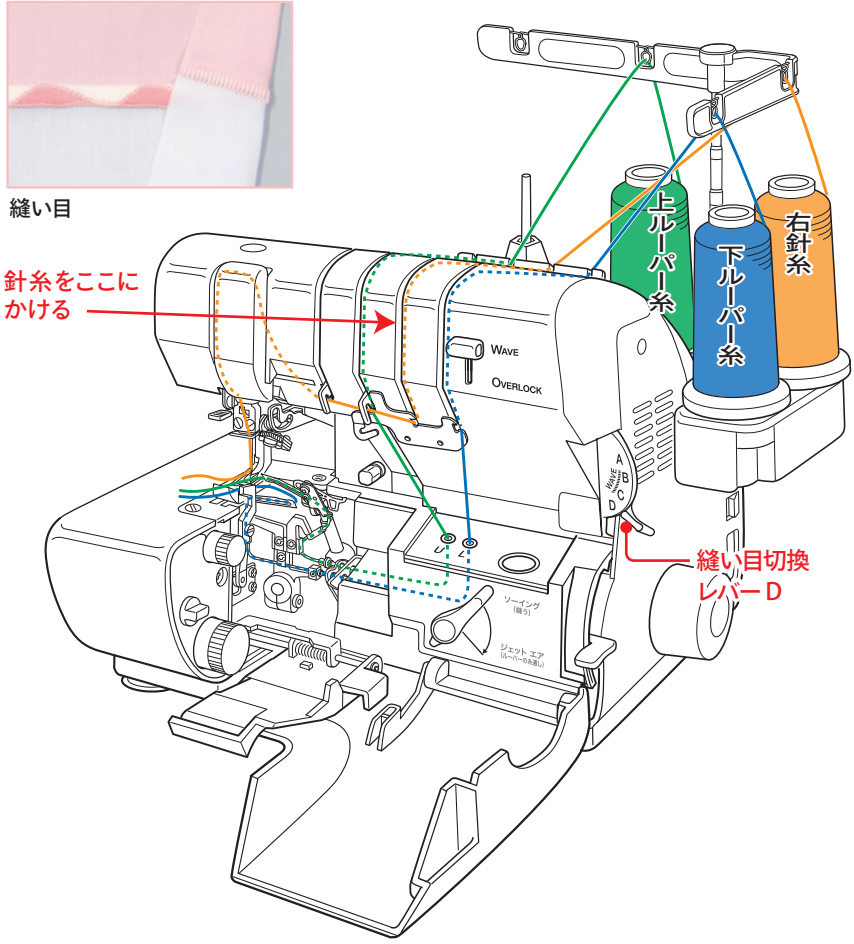
ワンポイント



ワンタッチ糸案内からカンタンに糸をはずす方法

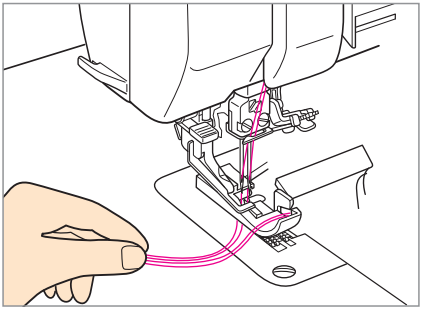


縫い目

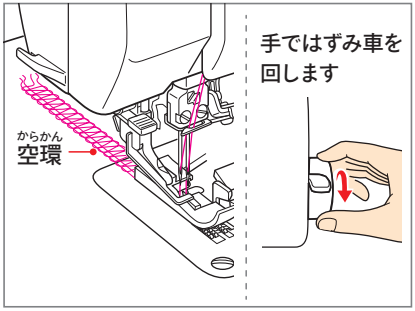


縫い始め・縫い終わり

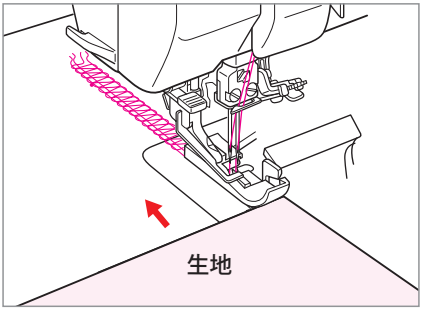
①糸を押え金の上を通して左側にそろえる。



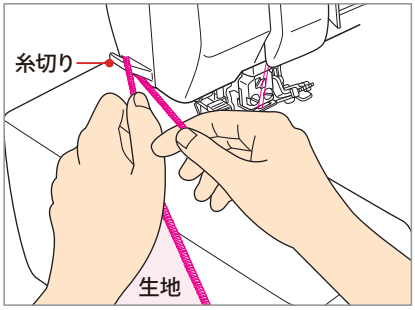
②糸の絡みぐあいを確かめてフットコントローラーを踏む。



③布をすべり込ませて縫い始める。



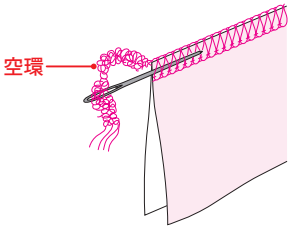
④縫い終わりは空環を長めに出して切る。



空環（からかん）の始末

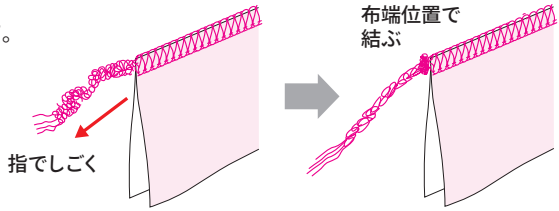
縫い終わった後の「空環」の始末には次のような方法があります。

とじ針で裏の縫い目に2〜3cm通します。
空環が短い場合は、先にとじ針を縫い目に通し、
その後空環をとじ針の穴に通して引き抜きます。



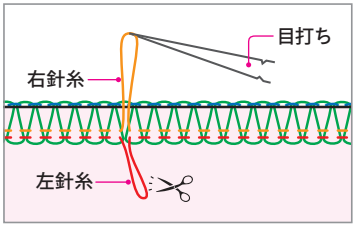
「空環」の糸をしごいて結びます。

※ギャザー寄せをした場合は、
ギャザーが戻らないためにも
「空環」を結んでおくと良い
でしょう。

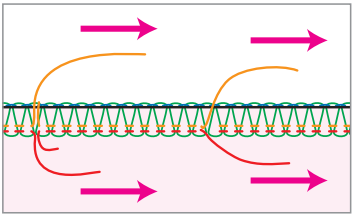


縫い目のほどき方 ※わかりやすいように糸の色を変えています。

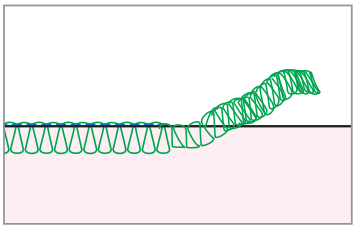
①布端の空環をカットし、右針糸と左針糸を数カ所、目打ちなどを使って引き出して切る。



②右針糸と左針糸をそれぞれ引っ張って取り除く。

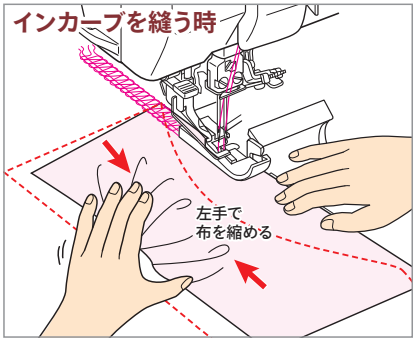


③針糸が取れるとルーパー糸は簡単に生地からはずれる。

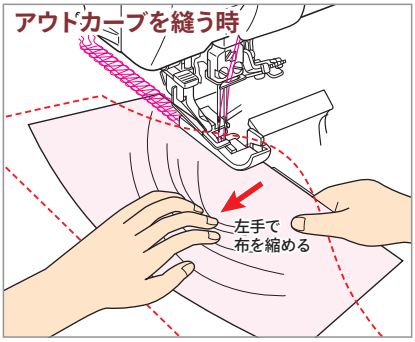


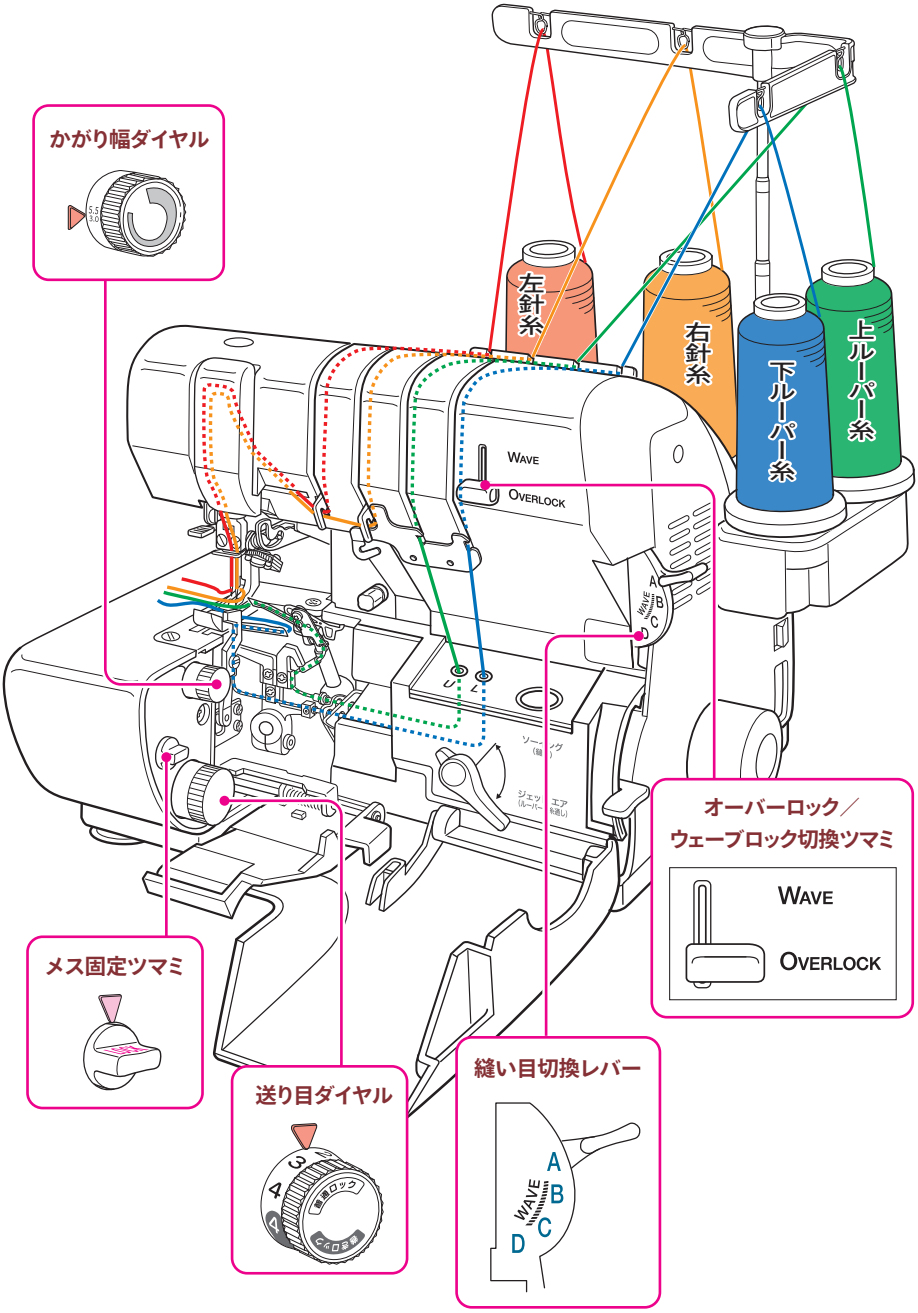
カーブを縫う時のポイント

フットコントローラーを弱く踏んで縫い目がはずれないようにゆっくり縫いましょう。



左手で生地を縮めるようにして、布を少しずつ直線状態をつくりながらゆっくり縫い進める。



カーブ（突き出た）部分を左手で縮めて、右手で手前の布を右方向に引き出しながら縫う。このときメスから針落ち位置までが直線になるようにする。

※アンテナは一番上まで引き伸ばしてください。